



お知らせボード

事務所横の登園チェックの上に、ホワイトボードを設置しています。「きっずノート」の配信状況やクラス・事務所からのお知らせなど、いろいろな目的で使用していこうと思っています。登降園の際にはチェックしてくださいね。



ドキュメンテーション

“あそび”には発見や学びがいっぱいです！保育園では子どもたちが出会った、驚きや感動、かわいいつぶやきなど“ドキュメンテーション”を通して、お子さんの育ちや学びをを保護者の方と共有し、お子さんの成長を喜びたいと思います。各フロアやいろいろな空間に掲示しています。ぜひ、ご覧ください。



消さないで
あなたの心の
注意の火

火あそび、だめ！



広島市南消防署
警防課 救助係

「新たな保育の取り組み」

ハラハドキドキの入園、進級から早いもので1か月がたちました。子どもたちは園生活や新しいお友達にも慣れ、たくさんの笑顔が見受けられるようになりました。みみょうでは、令和3年度の教育目標を「コロナと共存しながら、子どもたちの非認知能力を育てよう」にしました。コロナの感染防止に細心の注意をはらいながら、子どもたちに必要な非認知能力を伸ばしてゆこうとするものです。

非認知能力とは、物事を理解する基礎になる力のことで、主体性や柔軟性、創造力、自制心、自己肯定感（自分に対する自信）、回復力、やりぬく力、社会性、協働性、共感性などの総合的な力のことで、この目に見えない力が物事の見方や考え方を前向きにしたり、大人になったときのたくましく生きる力になります。

乳幼児期は非認知能力の基礎を身につける時期で、コーナーあそびやごっこあそびなど友達同士で遊びながら、我慢したり、協調したり、ときに失敗を繰り返しながら自分なりにこの力を身につけていきます。

非認知能力が高いほど、学校に入っても大人になっても成功する割合が高いので、現在世界中で注目されている力です。最近学校で取り入れている「アクティブ・ラーニング」も従来の学習方法にこの非認知能力を取り入れたものです。

みみょうでは、これまでも非認知能力を向上させるために、「えらべる、つながる、楽しい保育」をテーマに、子どもたちと対話のなかで、選ぶ、考える、工夫するあそびの場面を数多く取り入れてきました。

そこで今年度も、非認知能力向上に向けて、赤ちゃんのときから“どきどき、わくわく”するような環境を用意して、登園した時から「身体を動かすことが大好きな子」に。2歳ころからは自分の好きなあそびを選んで、「自分で考えることが大好きな子」に、3歳からは保育者が中心になるクラス単位の教育時間も始まりますが、朝や午後の「探究活動の時間」（子どもが自分の好きなあそびを選んで遊ぶ時間）などで

友だち同士が相談しながら「人とかがかわることが大好きな子」になるような保育を進めてまいります。

具体的には、朝の「探究活動の時間」として、登園してきた子どもたちが「今日は何があるんだろう」と好奇心を持ってもらえるようなコーナーを作ります。朝はクラス担任が用意するので、異年齢の移動は余り見られないかも知れませんが、クラスごとに内容が変わりますので、子どもたちの中にはクラス学年をこえて遊んでも良いようにと考えています。

3歳以降の教育時間と食事や午睡が終わった後の「探究活動の時間」は、探究活動担当者が園内にそれぞれ違うコーナーを数か所用意して、そこにはクラスや学年をこえて、好きなところに行って遊ぶということを考えています。子どものあそびにはクラスや学年はありません。隣のクラスに興味のあるあそびのコーナーがあって、仲良しのお友だちがいれば、あそびの時間はそこに行って遊んでもいいということです。

新しいやり方なので軌道に乗るまでには少し時間がかかりますが、非認知能力は自分でやりたいことを時間をかけて、自分で納得するまで粘り強く繰り返すことで身につきます。大人はその気にさせる環境を作り、様子を見ながら環境を変える役割をするだけ、子どもたちは大きい子は小さい子の面倒を見ながら、小さい子は大きい子を見習いながら自分のやりたいことを見つけ、考えたり、工夫したり、相談しながら非認知能力を身につけてもらうことを考えています。

非認知能力は物事を前向きにとらえる力であり、自分のことは自分で決めるという自主性や主体性に繋がります。ご家庭でもお子さんの良いところや頑張っているところをしっかりとほめて、自己肯定感ややりぬく力が身に付くようにして頂きたいと思います。

コロナ感染症が拡大しています。保育は3密の中で行うものです。園内にウイルスを持ち込まないように、十分にご配慮をお願いします。

第二みみょう保育園園長

子育て応援メッセージ

抱きしめるだけで
愛は伝わる



子どもはお母さんにギュッと抱きしめられると、そこからお母さんの優しいぬくもりがたくさん伝わって、とってもとっても心が落ち着きます。とくに小さい時はたくさんたくさん触れ合ってください。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ
お母さん」より
いろは出版

園庭の草花であそぼう！！
色の変化がおもしろい



クローバーにれんげ草、実はいろいろ咲いています。

季節ならではの経験を子どもたちは身体いっぱい感じています。